【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公開番号】特開2002-244817(P2002-244817A)
【公開日】平成14年8月30日(2002.8.30)
【出願番号】特願2001-346813(P2001-346813)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　 3/06
　Ｇ０６Ｆ　12/00
　Ｇ０６Ｆ　12/16
　Ｇ０６Ｆ　13/00
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　 3/06　　３０４Ｅ
　Ｇ０６Ｆ　 3/06　　５４０
　Ｇ０６Ｆ　12/00　　５３１Ｄ
　Ｇ０６Ｆ　12/16　　３１０Ｍ
　Ｇ０６Ｆ　13/00　　３０１Ｐ

【手続補正書】
【提出日】平成16年8月25日(2004.8.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　ミラーリング・エージェントが要求、コマンド及び状態メッセージを受信し、要求及びコマンドを送信する通信媒体に結合された通信ポートであって、アドレスに関連付けられている通信ポートと、
　前記通信ポートを介して送受信される着信要求及びコマンドならびに送出要求及びコマンドを格納するメモリと、
　前記通信媒体を介して前記ミラーリング・エージェントにアクセスしているホスト・コンピュータに仮想論理ユニット・インタフェースを提供するルーチンを実行し、前記通信媒体及び少なくとも２つのデータ記憶装置と関連付けられた通信媒体アドレスを介して、前記ミラーリング・エージェントから遠隔にあり前記ミラーリング・エージェントがアクセス可能な前記少なくとも２つのデータ記憶装置に要求及びコマンドを発することによって前記仮想論理ユニット・インタフェースを実現するコントローラと、を含み、
　前記少なくとも２台のデータ記憶装置はお互いのミラーとなるように継続的に更新される、ミラーリング・エージェント。
【請求項２】
　前記ホスト・コンピュータは、前記ミラーリング・エージェントと関連付けられた通信アドレスで通信媒体発見プロセスにより前記仮想論理ユニットを発見し、前記ミラーリング・エージェントと関連付けられた前記通信アドレスの表示と共に前記仮想論理ユニットに関連する内部表示を保持する、請求項１に記載のミラーリング・エージェント。
【請求項３】
　ミラーリングされたデータ記憶装置をホスト・コンピュータに提供する方法であって、
　通信媒体ポート、メモリ、およびコントローラを含み、通信媒体アドレスに関連付けられたミラーリング・エージェントを提供するステップと、

通信媒体を介してホスト・コンピュータに論理ユニット・インタフェースを提供するステップと、

前記ホスト・コンピュータから前記論理ユニット・インタフェースに送られた要求及びコマンドを受け取り、前記ミラーリング・エージェントから遠隔にあり前記通信媒体を介して通信媒体アドレスに関連付けられた少なくとも２つのデータ記憶装置に要求及びコマンドを転送して、前記少なくとも２つのデータ記憶装置の間のミラー関係に対応する単一の一貫したデータ状態をそれぞれ保持するように前記少なくとも２つのデータ記憶装置を継続的に更新することによって、前記ミラーリング・エージェントにより前記論理ユニット・インタフェースを実現するステップと、を含む方法。

【請求項４】

少なくとも２つのデータ記憶装置の間でミラー関係を確立する指令をミラーリング・エージェントによって受け取るステップをさらに含み、前記ミラーリング・エージェントは少なくとも２つのデータ記憶装置を同期させ、該少なくとも２つのデータ記憶装置に論理ユニット・インタフェースを提供する、請求項３に記載の方法。